

令和 8 年度当初予算(案)

「躍動する兵庫」 希望をつなぐ、未来をつくる

令和 8 年 2 月 12 日
財務部 財政課

令和 8 年度当初予算 全体像

	令和 8 年度	令和 7 年度	増 減	伸 率
一 般 会 計	23,182 億円	23,582 億円	▲400 億円	△1.7%
特 別 会 計	18,359 億円	17,953 億円	+ 406 億円	+2.3%
公営企業会計	3,762 億円	3,615 億円	+ 147 億円	+ 4.1%
合 計	45,303 億円	45,150 億円	+ 153 億円	+ 0.3%

令和8年度当初予算 歳入の概要

①県税等 **10,327**億円（対前年度比：＋3.5％）

- ・雇用・所得環境の改善による個人関係税の増や堅調な企業収益の推移による法人関係税・特別法人事業譲与税の増、国内消費の増に伴う地方消費税の増等による増

②地方交付税等 **3,858**億円（対前年度比：＋8.7％）

- ・法人関係税の増等による基準財政収入額の増により、交付基準額が減少となる一方、給与関係経費の増や地域未来基金費※、臨時財政対策債償還基金費の皆増等により、基準財政需要額が増したことによる増

※国は、地域未来戦略（R8夏目途に取りまとめ）を踏まえ、地域クラスターの形成・拡大や地場産業の付加価値向上・販路拡大等を推進するため、単年度措置として創設

③国庫支出金 **2,034**億円（対前年度比：＋11.1％）

- ・公立小学校給食費無償化の実施等による増

④県 債 **1,244**億円（対前年度比：△4.7％）

- ・投資事業費に連動し、事業進捗等による減等による減

⑤その他 **5,719**億円（対前年度比：△17.3％）

- ・中小企業制度資金貸付金償還金の減少等による減

令和8年度当初予算 歳出の概要

①人件費 **4,942億円**（対前年度比：+6.8%）

- ・令和7年度給与改定等による増
- ・令和8年度は定年引上げによる定年退職者数増※に伴う退職手当の増等
※定年退職者が2年に1回発生

②行政経費 **10,223億円**（対前年度比：△7.6%）

- ・社会保障関係費の自然増、鳥インフルエンザ・豚熱の発生に備えた防疫措置に要する経費の予算計上、公立小学校給食無償化の実施による増
- ・新型コロナ対策資金の償還進捗等による中小企業制度資金貸付金の減等

③投資的経費 **1,888億円**（対前年度比：△4.8%）

- ・暫定的な本庁舎再編における移転準備の減、消防防災ヘリコプターの機体更新の減等

④公債費 **2,880億円**（対前年度比：+3.7%）

- ・発行利率の上昇に伴う県債利子の増等

⑤その他 **3,249億円**（対前年度比：+3.9%）

- ・地方消費税等の税収増に伴う税交付金の増
- ・国の地域未来基金費の措置に伴う地域創生基金積立金の増や
高等学校教育改革促進基金積立金の増等

令和8年度予算編成の重点

「躍動する兵庫」 希望をつなぐ、未来をつくる

I Youth

若者の可能性を拓く

○ 学びやすい兵庫の実現

- ・ 高校教育環境の充実
- ・ 教育費等の負担軽減
- ・ 次代を担う人材の育成

○ 住みやすい兵庫の実現

- ・ 子どもの遊び場の充実

○ 子どもを産み育てやすい兵庫の実現

- ・ 妊娠・出産支援の充実
- ・ 子ども・子育て支援の充実
- ・ 課題を抱える子ども・若者への支援

○ 働きやすい兵庫の実現

- ・ 次代を担う多様な人材の確保
- ・ 多様な働き方の推進

II Safety

安全安心な暮らしを守る

○ 防災・減災対策の推進

- ・ 南海トラフ地震等への備え
- ・ 県土の強靱化

○ 地域の安全・安心の確保

- ・ 進化する犯罪への対応
- ・ 人権尊重の推進

○ 医療・介護の充実

- ・ 地域医療等の推進
- ・ 多様な人材の確保

○ ユニバーサル社会の推進

- ・ 障害者の就労支援

III Vitality

地域活力を底上げする

○ 新観光戦略の推進

- ・ 戦略的な誘客プロモーションの展開

○ 地域の賑わいづくり

- ・ 万博レガシーの展開
- ・ 空き家・古民家の活用促進

○ スポーツ・芸術文化の振興

○ 産業の振興

- ・ 経営の持続性向上、労働生産性の向上
- ・ スタートアップ支援

○ 交流・発展を支える社会基盤の充実・強化

IV Harmony

自然との共生を深化する

○ 農林水産業の振興

- ・ 持続可能性を高める取組の強化
- ・ 人と環境にやさしい農業の推進
- ・ 次代を担う後継者の育成・確保

○ 循環型・自然共生社会の実現

- ・ 脱炭素の推進、資源循環の推進
- ・ 野生鳥獣の適正な保護管理
- ・ 特定外来生物防除対策の推進

V Governance

県政基盤を強化する

○ 新庁舎等整備プロジェクトの推進

○ PPP／PFIの導入促進

○ AI活用による行政DXの加速化

○ ファンドレイジングの推進

- 兵庫の若者が抱える課題を解決し、可能性を拓くため『若者・Z世代応援パッケージ』を展開
- 3年目となる令和8年度も、**ライフステージに応じた切れ目のない支援を充実**し、パッケージを強化

令和8年度の概要（主な事業）



● **学び**やすい兵庫

- 教育環境の充実…県立学校施設の改修・修繕の拡充、私立高校における緊急修繕
- 特色ある教育の磨き上げ…県立・私立高校の魅力向上、チャレンジ留学応援事業の強化
- 教育費の負担軽減…県立大学授業料等の無償化、兵庫型奨学金返済支援

● **子ども**を産み育てやすい兵庫

- 妊娠・出産・産後支援の強化…不妊治療支援、出産・健診等の安心アクセス支援
- 子育て環境の充実…地域限定保育士の導入、幼児教育の更なる質の向上
- 安全・安心な環境づくり…不登校支援員の拡充、医療的ケア児への通学支援

● **住み**やすい兵庫

- 住宅・住環境の確保…子育て住宅促進区域の魅力向上、県営住宅における子育て世帯への支援
- 遊び場の充実…県立都市公園の遊具充実・暑さへの対策

● **働き**やすい兵庫

- 若者の就労支援の拡充…高校生・大学生等の県内就職支援、ケアリーバーの自立支援
- 柔軟で多様な働き方の推進…女性活躍の推進、場所等にとらわれない働き方の推進
- 多様な分野への就労支援の強化…有機農業アカデミーの開講、林業の魅力発信

- **若者による政策提案チーム**を結成し、「若者・Z世代応援パッケージ」の更なる充実と強化に向けた仕組みを構築

主な充実・強化内容

学びやすい

（これまでの主な取組）

- 県立学校の環境充実
- 特別支援学校の整備促進
- 県立大学授業料等の無償化
- 兵庫型奨学金返済支援制度
- 県立高校ふるさと共創プロジェクト
- 児童養護施設入所者等への大学進学支援



➤教育環境の更なる充実

新規・拡充

- **県立学校の更なる環境の充実**
体育館・食堂等の空調整備や、授業・部活動の用具等を整備
- **私立学校における緊急修繕を支援**
酷暑・防犯対策など、各校のニーズに対応する施設等の修繕に対して支援

➤特色ある教育の磨き上げ

新規・拡充

- **県立高校の魅力の再構築に向けた取組**
魅力・特色の磨き上げや探究活動等を充実
- **「選ばれる私立高校」に向けた支援**
各校の特色の磨き上げや教員確保等を支援
- **チャレンジ留学の強化**
高校生の対象人数の増加、大学1年生を対象に追加

働きやすい

（これまでの主な取組）

- 高校生の県内就職の促進
- 大学生等へのインターンシップの推進
- 理工系人材の獲得促進
- ミモザ企業の推進
- 教職員の働き方改革の推進
- 地域公共交通人材の確保支援



➤若者の就労支援の拡充

新規・拡充

- **ケアリーバーの自立に向けた支援**
応援企業と連携した就労体験の支援等を実施
- **就業意欲のある若者等への支援**
アプリによるチャット相談や企業とのマッチングを支援

➤柔軟で多様な働き方の推進

新規・拡充

- **場所等にとらわれない働き方の推進**
テレワークの環境整備等を更に促進

➤多様な分野への就労支援の強化

新規・拡充

- **有機農業アカデミーの開講**
有機農業を実践する担い手や地域のリーダーを育成
- **林業の魅力発信**
現場見学やセミナー等による林業体験の機会を創出
- **建設業の魅力発信**
「ひょうごインフラDX展^{（仮称）}」の開催や、建設業の魅力向上に向けたブランディングを実施
- **ものづくり産業の魅力発信**
工業高校生等を対象とした熟練指導者による本格指導や子どもたちへの指導体験を実施

(これまでの主な取組)

- 不妊治療支援の充実
- 不妊治療と仕事の両立支援
- 産後ケア事業への支援
- 特定妊婦等への支援

➤よりきめ細やかな**妊娠・出産・産後支援**の強化

新規・拡充

- **出産・健診等の安心アクセスを支援**
遠方の医療機関への通院に係る交通費を支援

- **助産所等の出産・産後ケア施設の整備支援**
老朽化した設備・備品の更新等を支援

(これまでの主な取組)

- 高校生のための保育の仕事体験事業
- 保育所等における食の安全・安心推進事業
- 保育所等における要支援児童等への支援
- 子育て世帯への住宅支援
- 学びの場・遊びの場の充実
- ひょうご不登校対策プロジェクト
- ヤングケアラー・若者ケアラーへの支援

➤子育て環境の改善に向けた**人材基盤**の強化

新規・拡充

- **「地域限定保育士」の導入**
地域限定保育士制度により、保育人材確保を強化
- **幼児教育の更なる質の向上**
専門アドバイザー配置等による、質の向上に向けた体制を強化
- **放課後児童クラブの待機児童の解消支援**
若者等を対象としたインターンの実施や、民間事業者の新規参入を促進

➤子どもの成長に繋がる**体験機会**の充実

新規・拡充

- **プレミアムスポーツサマーの実施**
小学生対象のスポーツイベントの情報発信や無料体験教室を開催
- **わくわく・きらきらアート体験の実施**
小中高生の授業等で芸術を体験する機会を提供
- **小学生の職業体験モデル事業**
児童養護施設等で育つ小学生を対象に、職業体験の機会を提供

➤**安全・安心な環境づくり**

新規・拡充

- **ひょうご不登校対策プロジェクトの拡充**
小学校における不登校児童生徒支援員の配置支援を全校に拡充
- **医療的ケア児への通学支援**
登下校時の福祉車両等に同乗する看護師を配置

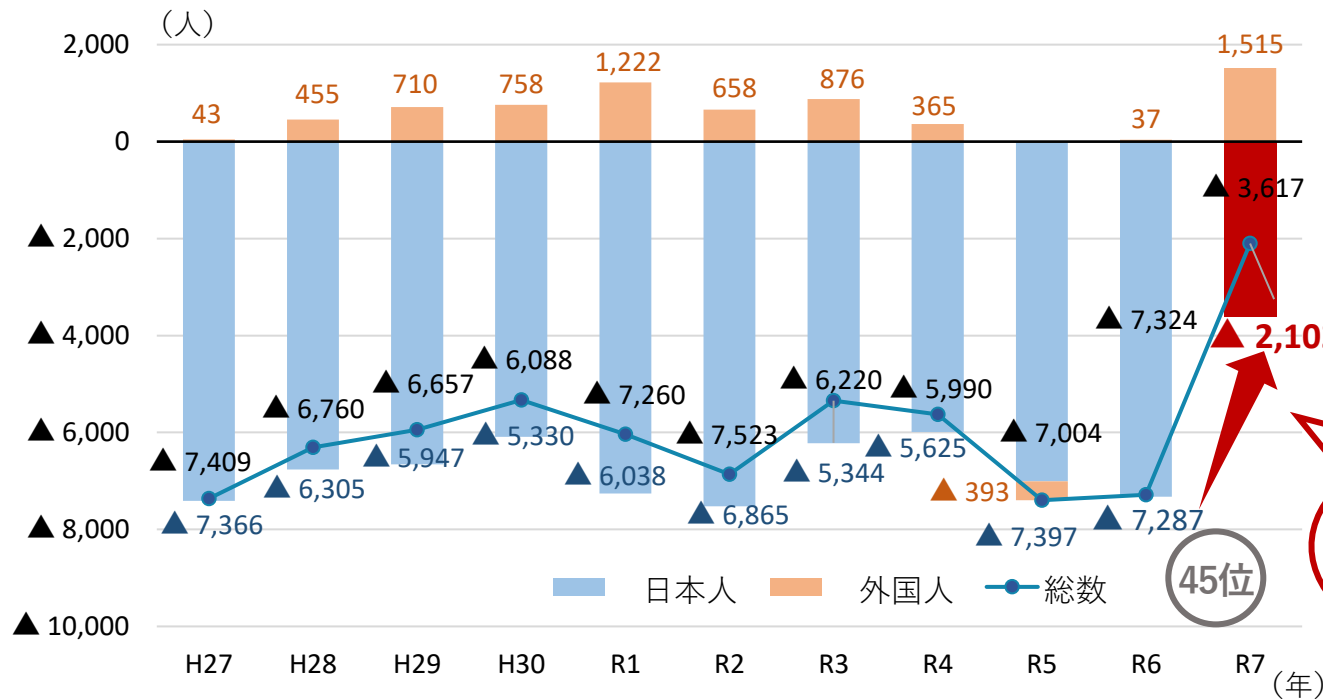
- **スクールカウンセラーの配置拡充**
全小中学校で自殺予防の特別授業を実施
- **子どもの遊び場等の暑さ対策の実施**
県立都市公園において、遊具の周辺や運動施設に、ミスト装置を設置

兵庫県の人口の社会増減(国内移動)の状況(令和7年)

- 本県の転出超過数は▲2,102人 R6年の▲7,287人から **+5,185人と大幅に改善**
対前年比の増加数は**全国1位** (日本人の増加数(+3,707人)も1位)
- とりわけ増加数の大きいのは、**ファミリー層(+2,256人)**と**20歳代(+2,217人)**
- これにより、**転出超過数(▲2,102人)**の全国順位は、R6年の45位(ワースト3位)から**18位に上昇**

<転出超過数の推移(総数)>

(出典) 総務省「R7年住民基本台帳人口移動報告」
(注) マイナス(▲)は転出超過を示す



大幅に改善
ファミリー層と
20歳代が特に増加

この流れをさらに加速するため、引き続き「若者・Z世代応援パッケージ」の取組を加速・充実

1. 「学びやすい兵庫」の実現

■高校教育環境の充実

- 少子化の進行や長引く物価高騰、高校教育の無償化の影響など、県立・私立高校を取り巻く様々な課題に対応するため、各種支援策を実施

県立学校の魅力づくり：①さらなる教育投資の充実

県立学校の環境充実

拡○空調利用環境の整備

- ・普通教室の空調は整備済（H30）
- ・特別教室等への空調整備を計画的に実施中
- ・**体育館・食堂**への空調整備を重点強化 [16.1億円]

※近年の深刻な気温上昇等を踏まえ、適切に稼働できるよう**ランニングコスト（光熱費）の措置を拡充** [4.0億円※内数]

○学校環境魅力アップの応援 [3.0億円]

- 新** ・各校の状況や特色に応じた**魅力アップ**に繋がる**部活動用具・校内用具等を整備**
（整備内容例：①授業・部活動環境の充実 ②学習環境の充実 ③学校行事の充実）

○緊急修繕・環境改善の強化 [2.0億円]

- 拡** ・老朽化が顕著なため、魅力充実の基盤となる**学校施設・設備の集中整備**を実施

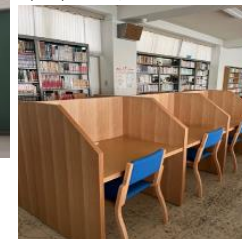


体育館の空調



（例）スクリーン

（例）自習机



学校環境魅力アップ

特別支援教育の充実

- 新** ・狭隘化対策として、**北はりま特別支援学校の分校を整備** [6,223万円]

所在地	加東市上三草（小学校跡地を活用）
障害種別等	障害種別：知的障害（小・中学部） 児童生徒数：40人予定
スケジュール	令和8～9年度：設計 令和9～10年度：建築工事 令和11年度：開校

- 新** ・県立特別支援学校のキャリア教育・社会参加の推進 [117万円]
（キャリア教育の研究開発、地域別ワークショップの開催）



旧加東市立三草小学校

1. 「学びやすい兵庫」の実現

県立学校の魅力づくり：②高校教育改革

県立高校の魅力の再構築に向けた取組

- 新** ○県立高校の魅力・特色のさらなる磨き上げ[170万円]
 ・従来の枠組みにとらわれず質の高い特別な教育を行う高校づくりに向けた研究を実施
 （カリキュラム開発委員会及びイノベーション検討委員会を設置）
- 新** ○職業学科等における教育環境の充実[10.0億円]
 ・産業界のニーズに対応した教育に必要となる先端機器等を整備し、
職業学科等の機能を強化
 （整備例：技術革新に対応したデジタル機器、高度な分析・探究機器等）
- 新** ○共同で実施する探究活動の充実[1.0億円]
 ・複数の高校と大学・企業等と連携した**共同研究グループ**を構築
 ・グループの拠点校に、活動拠点となる**共同探究ラボ**を整備
- 新** ○地域における高校のさらなる活性化[1,556万円]
 ・遠隔授業の令和9年度の本格実施に向け、**環境を整備**
 （県立総合教育センターに配信ブースを5室設置）
 ・地域連携による多様な**学習機会の確保**
 （例：生徒数が少なく、行事の規模内容に制約⇒文化祭と地域イベントとの合同開催）
- 新** ○県立高校の魅力・特色の発信強化[450万円]
 ・中学生や保護者、地域等に発信する**県立高校進学フェア**を開催
- 新** ○高等学校等教育改革促進基金の創設[60.6億円]（令和7年度2月補正計上予定額定含む）
 ・高校教育改革を先導する事業を実施するため、国補助金を活用し、基金を創設



卓上走査電子顕微鏡

レーザー加工機



イメージ 共同研究ラボ



イメージ 進学フェア

1. 「学びやすい兵庫」の実現

選ばれる私立学校への支援

新 ○特色ある教育への磨き上げ支援 [5,000万円]

- ・各校の**特色ある教育内容の磨き上げを支援**
(グローバル教育や高大・産官学連携、地域共創、部活動等)

対 象	県内私立高校を運営する学校法人
補 助 額	定額 (上限5,000千円)

新 ○私立学校等の教員確保を支援 [1,402万円]

- ・ **ひょうご型奨学金返済支援制度**において
学校法人を支援対象に追加 (最大17年間支援)

(補助額イメージ)

年間返済額18万円	
6万円 (法人の負担額)	12万円 (県の負担額)

対 象 者	・ 常勤教員で40歳未満 ・ 県内の学校等(幼小中高)に勤務
補 助 額	年間返済額の 2 / 3 (上限120千円) ※法人負担1/3
補助期間	・ 5年 下記以外の学校法人 ・ 10年 ①フレッシュミザ* 法人、②ワークライフバランス宣言法人 ・ 17年 ①ミモザ法人、②ワークライフバランス認定表彰法人

新 ○私立高校への入学金を支援 [5,295万円]

- ・ 経済的な理由で入学金の納付が困難な世帯に対して、**入学金の一部を支援**

対 象	・ 県内私立高校(全日制)・県内私立専修学校高等課程の新入学生 ・ 保護者が県内に居住 ・ 生活保護(生業扶助)受給世帯または住民税非課税世帯
補 助 額	・ 県内私立高校(全日制) 上限50千円 ・ 県内私立専修学校高等課程 上限25千円

新 ○教育の質向上のための支援 [2.6億円]

- ・ 私立学校経常費等補助において、学習環境等の向上・改善に対する取組等を評価し、追加支援を実施することにより、教育力の底上げを図る (対象校種 私立高等学校 (全日制))

新 ○私立学校の緊急修繕を支援 [8.5億円] (R7年度2月補正計上予定)

- ・ 酷暑や防犯対策など現場のニーズに対応する小規模な緊急修繕を支援(補助率1/2 上限5,000千円)

1. 「学びやすい兵庫」の実現

■教育費等の負担軽減

県立大学の授業料等無償化

[19.5億円]

- ・兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学について、**県内在住者の入学金及び授業料を学部、大学院共に、所得に関わらず無償化（R8年度より全学年対象）**



小学校の給食費負担軽減

[142.1億円]

- 新** ・国が創設する学校給食費の抜本的負担軽減のための「給食費負担軽減交付金」を活用し、給食費を支援

■次代を担う人材の育成

HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト

- ・チャレンジ留学の強化
(HYOGO若者「海外武者修行」応援プロジェクト)[2,028万円]

対 象	補助上限	対象人数
【拡】 高校生	50万円	20名→ 30名
【新】 大学生※1年生のみ		5名

中学校部活動改革推進プロジェクト

[8.5億円]

- 拡** ○中学校の部活動の地域展開・地域連携の推進にかかる経費等を支援

- ・部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進（休日の地域クラブ活動の活動費等を支援等）
- ・平日も含めた地域展開等の加速化のための重点課題への対応（公認指導者の養成等）
- ・中学校における**部活動指導員の配置を支援**



子どもたちの体験機会の充実

- ・スポーツ・芸術を体験できる**プレミアムスポーツサマー・プレミアム芸術デーの開催**

[詳細P24]

2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

■妊娠・出産支援の充実

安心できる出産・健診体制の構築

新 ○出産・健診等の安心アクセスを支援[570万円]

- 妊産婦等の居住地に関わらず、安心して出産等ができる体制を整備するため、遠方の産科医療機関等で出産等が必要な妊婦等に対して、**通院交通費を支援**

区分	内容
対 象	自宅等から最寄りの産科医療機関等まで概ね60分以上の移動時間を要する妊産婦等
対象経費	妊婦健診、出産、産婦健診、不妊治療、産後ケア事業、乳幼児健診にかかる 最寄りの産科医療機関等までの移動に要した経費
補助上限	移動に要した費用の8割相当
実施主体	市町



新 ○助産所等の出産・産後ケア施設に対する設備整備支援[5,600万円] (R7年度2月補正計上予定)

- 物価上昇の厳しい環境の中でも妊婦の希望に応じた出産や産後ケアを行える環境を整備するため、助産所等の老朽化した設備・備品の更新等、現場ニーズに対応した支援を実施（補助率1/2 上限150千円/施設）

2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

■子ども・子育て支援の充実

人材確保の充実

- 新** ○ **地域限定保育士試験の実施** [1,010万円]
 ・ 通常の保育士試験の後期日程にあわせて地域限定保育士試験を実施

	地域限定保育士	通常の保育士
資格	合格登録後 3年間は登録地域限定で勤務可能 ⇒ 3年（うち1年実務経験）経過後、 全国で勤務可能	合格登録後、全国で勤務可能
試験	筆記試験及び 実技講習 (実技試験の代替措置)	筆記試験及び実技試験

- **幼児教育現場における人手不足解消を支援** [376万円]
拡 ・ 新卒者や再就職希望者を対象に**私立幼稚園就職フェアを開催**
 （再就職希望者をメインターゲットとした回を新たに設定）
 ・ 人材登録センターの運営を支援



幼稚園フェアでの就職相談（イメージ）

幼児教育の質の向上

[393万円]

- 新** ・ 新たに幼児教育の専門的知見や豊富な実践経験を有する**幼児教育アドバイザーを配置**し、**ひょうごっ子幼保小の架け橋教育支援センター(仮称)を設置**（幼児教育の質の向上に係る指導・助言等）

医療的ケア児への通学支援

[2,061万円]

- 新** ・ 医療的ケア児の登下校時における保護者負担を軽減するため、保護者に代わって医療的ケアを行う**看護師を配置**（登下校時、医療的ケアが必要な児童生徒が利用する福祉車両等に同乗）

2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

■課題を抱える子ども・若者への支援

- 子育て世代の不安や悩みに寄り添いながら、**子どもの健やかな成長**につなげていく

「不登校児童生徒支援員」の全校配置

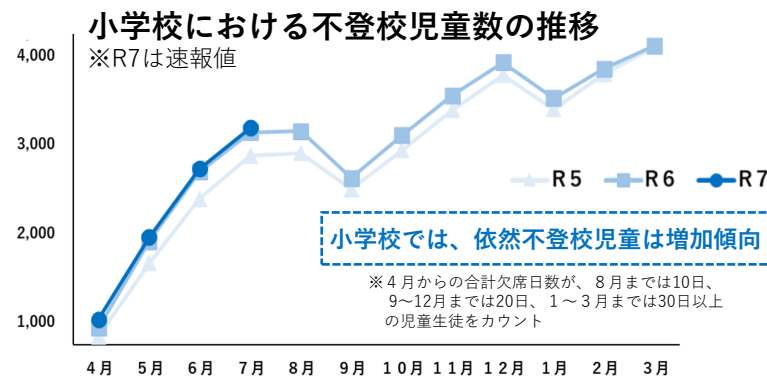
[5.6億円]

○校内サポートルームにおける支援体制の強化

- 拡** ・ **小学校：全校配置支援に拡充**（R6：4校に1人、R7：2校に1人）
・ **中学校：全校配置支援**（R6より全校配置）

スクールカウンセラーによる特別授業

- 拡** ・ 全小中学校において**スクールカウンセラーによる自殺予防教育特別授業の実施**（実施イメージ：児童生徒・教員・スクールカウンセラーによるロールプレイ）[1,908万円]



3. 「住みやすい兵庫」の実現

■子育て世帯への住宅支援

- ・ 県営住宅における子育て世帯への支援（子育て世帯向けリノベーション等）
- ・ 子育てしやすいモデル地域(住宅地)づくり（「子育て住宅促進区域」での重点的支援）

■通学路の安全確保

- 拡** ・ 通学児童の安全を早期に確保するため、歩道のない**通学路におけるカラー舗装の更新を加速**（R7年度2月補正計上予定）[3.0億円]

■子どもの遊び場の充実

- 新** ・ 県立都市公園の暑さ対策として、**子どもが使用する遊具周辺・運動施設等にミスト装置を設置**し、遊び場を充実[681万円]
（播磨中央公園、三木総合防災公園、淡路佐野運動公園）



子育て世帯向け
リノベーション
グレードアップ改修



ミストのイメージ

4. 「働きやすい兵庫」の実現

■多様な働き方の推進

多様な働き方の発信

- 新** ・女性の経済的自立と社会活躍を推進するため、場所や時間にとらわれない柔軟で多様な働き方を発信する
多様な働き方フォーラムを開催 [129万円]

■次代を担う多様な人材の確保と就労支援

各業界の人材確保

- 新** ・林業：将来の林業の担い手の裾野を広げるため、林業に触れられる機会を創出し、魅力等を発信 [298万円]
新 ・建設業：建設業の魅力発信や入職促進を図るため、若者・Z世代を対象に**ひょうごインフラDX展(仮称)を開催** [276万円]
 (インフラDXなどの講演、先進事例発表、展示会等)

ケアリーバーの自立支援

- 新** ・企業・施設等と連携したケアリーバー自立支援の強化 [1,133万円]

応援企業と連携した短期就労機会の充実 「263万円」	・連携促進のための会議の開催 (補助率1/2 上限4千円/人) ・施設等と連携して実施する短期就労体験に要する経費を支援
心理的ケア体制の整備※ [695万円]	自立支援相談・交流拠点への心理療法担当の配置
児童養護施設等による自立支援活動補助※ [175万円]	施設等退所者への訪問等による支援経費を補助 (5千円/人)

職業体験機会の創出

- 新** ・児童養護施設で育つ小学生の職業体験機会の提供※ [206万円]

※「こどもを産み育てやすい兵庫」の実現としても対応

その他：若者支援の充実に向けた仕組みづくり

- 新** ○ひょうごポリシーメイキングチャレンジ

(専門家の伴走支援を受けながら、政策提言を実施)

- ・若者・Z世代応援パッケージのさらなる充実にむけ、**若者による政策提案チームを結成し、県施策を検討** [1,609万円]

1. 防災・減災対策の推進

■南海トラフ地震等への備え

アクションプログラムの策定・啓発 [248万円]

- 新** ・ 次期地震・津波対策アクションプログラムの策定にあわせ、避難行動につなげるための動画を作成し、**視覚的に情報発信**



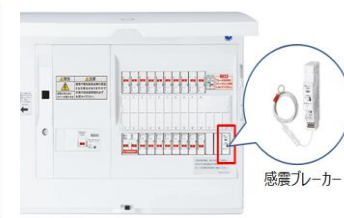
イメージ

人的・物的被害の低減

- 新** ・ 市町と協調し、**密集市街地への感震ブレーカー設置を支援** [514万円]

区 分	内 容
対象地域	防災街区整備方針等に位置づけられた 密集市街地
補助上限	25千円（市町が補助した額の1/2）

感震ブレーカー



感震ブレーカー

▲簡易タイプ

分電盤タイプ▲

○避難行動要支援者の個別避難計画作成支援 [322万円]

- 拡** ・ 地域の防災リーダーによる計画作成を支援する**ワークショップを開催**
 ・ オーダーメイド型研修の実施（県が専門家を派遣して市町を伴走的に支援）

- 新** ・ 市町消防本部の**ドローン**を安全かつ確実に操縦できる人材育成を支援 [113万円]



火災現場でのドローンによる情報収集

被災者支援

- ・ 県民の災害に備える意識を醸成し、本県防災力の向上を図るため、**避難所の生活環境の改善に資する資機材等を購入** [1.2億円] （R7年度2月補正計上予定）
 （想定：電動簡易トイレ、スポットクーラー等）

- 新** ・ 家屋被害認定調査や罹災証明書の発行を迅速に行うため、**県内統一した被災者支援システムを導入** [291万円]

1. 防災・減災対策の推進

■南海トラフ地震等への備え

世代を超えた継承

[80万円]

新 ○世代を超えた防災減災活動への発展

- ・創造的復興サミットで取りまとめた『**次世代（自分たち）の行動宣言**』を踏まえた**防災減災セミナー（仮称）を開催**

区 分	内 容
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・若者による防災減災活動の優良事例の発表 ・高校生、大学生（他県被災地を含む）による防災減災活動にかかる意見交換 等
実施時期	令和8年9月（予定）（場所：神戸市内予定）
参 加 者	若者・学生（被災地、県内大学生・高校生）等



創造的復興サミット
高校生・大学生による活動報告会

災害対応体制の強化

- 新** ・能登半島地震での課題や暫定的な本庁舎再編を踏まえ、全庁及び関係機関が参加する**多機関連携型の防災訓練（図上）を実施**
（参加機関：県、市町、消防・自衛隊、関係機関等） [1,602万円]

- 新** ・災害時の受援体制を構築するため、**映像機器等を整備し、災害対策本部機能を強化** [4,400万円]

- 新** ・大規模災害時の空路による物資・支援要員等の受入れ拠点等となる**但馬空港の防災機能を向上** [1.6億円]



イメージ 防災訓練

2. 県土の強靱化

■県土の強靱化

➤ 南海トラフ地震や頻発する風水害に備える強靱な県土を構築 [380億円]

区分	主な事業・箇所	
地震・津波対策	[橋梁耐震]	国道250号 播州大橋(高砂市等)
	[法面对策]	県道 穴栗下徳久線(穴栗市)
	[津波対策]	柴山港海岸防潮堤(香美町) 沼島漁港水門等整備 (南あわじ市)
総合的な治水対策	[河川改修]	武庫川(西宮市等)、明石川(明石市)、猪名川(川西市) [R8完] 津門川(西宮市)
	[河川中上流部治水対策]	[R8完] 大和川(多可町)、高田川(上郡町)、奥山川(豊岡市)
	[堆積土砂撤去]	明石川(神戸市)、市川(姫路市)、林田川(たつの市)
	[高潮対策]	尼崎西宮芦屋港海岸[芦屋浜地区](芦屋市) 北淡海岸[富島地区] (淡路市)
	[ため池改修等]	⑨七ツヶ谷池改修(加古川市)、⑨鬼蛇川下池廃止(淡路市)
山地防災・土砂災害対策	[砂防堰堤等整備]	[R8完] 道山川(加西市)、⑨境谷川(香美町)、⑨城山谷川(丹波市) [R8完] 塔の町地区(宝塚市)、⑨奥米地地区(養父市)
	[治山ダム整備]	岩屋(神河町)、和田山町竹ノ内 (朝来市)



国道250号 播州大橋
地震対策 (橋梁耐震)



武庫川
河川改修(潮止堰撤去)



尼崎西宮芦屋港海岸
高潮対策(防潮堤嵩上げ)



道路区画線の引き直し (宝塚市)

■安全安心な日常の維持管理の強化

- ・ 県民の安全安心に直結する日常の維持管理の強化として、「道路区画線の引き直し」「通学路等の年2回除草」「河川堤防の点検前除草」を実施 [20億円]

3. 地域の安全・安心の確保

■進化する犯罪への対応

特殊詐欺等への対策

[4,500万円] (R7年度2月補正計上予定)

- 拡**・独居高齢者など特殊詐欺被害リスクの高い世帯に、効果的な防犯対策となる自動録音装置の設置を積極的に促すため、既存電話機に設置する**外付け自動録音装置を配付：14,000台 ※R7年度配付見込数：約7,600台**

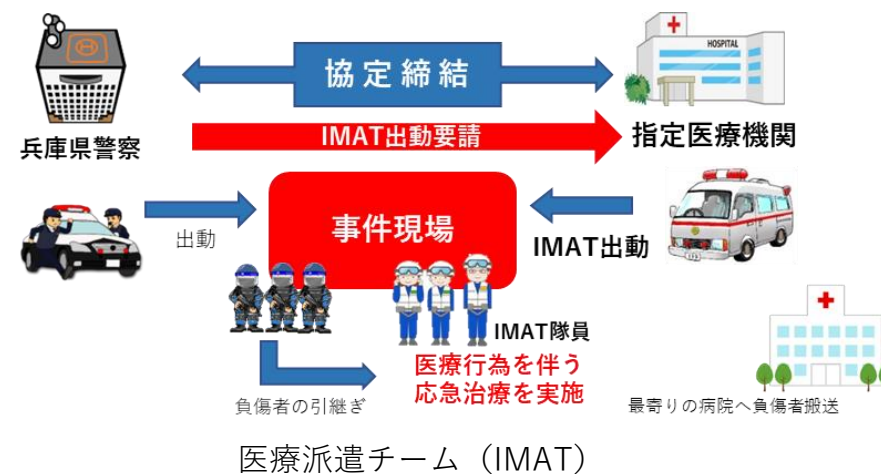


外付け自動録音機（イメージ）

安全・安心を支える体制の強化

- 新**・防犯カメラ解析による捜査の高度化・効率化を図るため、警察署に**AIを活用した画像解析装置を整備** [877万円]
- 新**・人質立てこもり事件等の発生時における負傷者の救命率向上のため、**医師等で構成する医療派遣チーム（IMAT(アイマット)）を整備** [27万円]

IMAT：Incident Medical Assistance Team



■人権尊重の推進

犯罪被害者等への支援

[499万円]

- 拡**・犯罪被害者の経済的負担を軽減するため、犯罪被害者の**転居費用に対する見舞金制度を新たに創設**

区分	遺族見舞金	重傷病見舞金	転居見舞金
支給金額	300千円	100千円	100千円

4. 医療・介護の充実

■地域医療等の推進

診療所の承継支援

[3,300万円]

新 ・地域の医療提供体制を維持するため、**診療所の承継に必要な設備整備を支援**

区 分	内 容
対 象	人口規模、地理的条件等により、医療機関の維持が困難な地域（重点医師偏在対策支援区域）の診療所
補助基準	16,500千円/1ヶ所（補助率1/2）



重点医師偏在対策支援区域

がん対策の推進

[50万円]

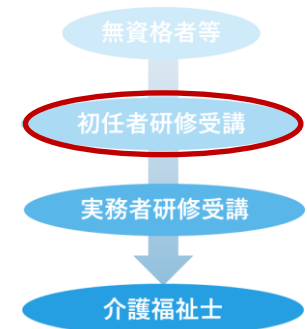
新 ・がんを早期発見し、現役世代が安心して治療と社会参画を両立できる方策を検討するため、「**現役世代のがん対策推進検討会(仮称)**」を**設置**

■多様な人材の確保

多様な介護人材の確保

[300万円]

新 ・**海外現地での介護職員初任者研修開講費用を支援**（補助率1/2 上限100万円）



介護福祉士資格取得までのイメージ

5. ユニバーサル社会の推進

■障害者の就労支援

新 ○「**ここいろひん**」※の認知度向上・販路拡大や事業所職員の意欲向上等を支援

・ここいろひんグランプリ（仮称）・販売会の開催等 [821万円] ※ここいろひん：障害福祉サービス事業所で製作された商品の愛称とマスコットキャラクター



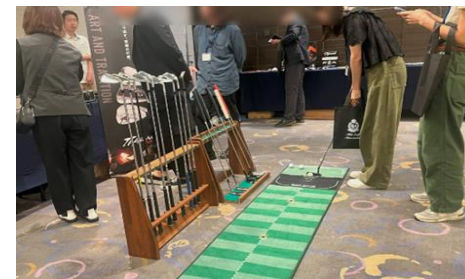
1. 新観光戦略の推進

■戦略的な誘客プロモーションの展開

兵庫への認知・関心の向上

拡 ○「ひょうご新観光戦略」に基づくインバウンドプロモーション [3,961万円]

- ・神戸空港国際化を契機としたインバウンド誘客強化
二次交通事業者と連携した**県内周遊ツアーの造成**や本県の強みを活かした**ゴルフツーリズムのPR**により、県内周遊を促進
- ・海外観光レップ機能※を活用したインバウンドプロモーション ※海外メディア等への営業活動や情報発信を代行
海外メディア等との関係構築や視察型招待ツアーを通じ、海外における情報発信を強化することで、「**HYOGO**」の認知拡大と誘客を促進



就航先での市川町アイアのPR

新 ○閑散期における首都圏等からの誘客促進 [975万円]

(冬季及び梅雨期など)

- ・観光需要が落ち込む**観光閑散期**において、効果的に本県への来訪が期待できる**首都圏等からの誘客を促進**(その時期ならではの体験やFPを盛り込んだ**モデルツアーコースの造成等**)



海外メディア対象の視察型招待ツアー
(明石浦漁港のセリ見学)

■観光地域を支える受入環境の整備

受入環境の整備

拡 ・**ユニバーサルツーリズム**を一層推進するため、観光地の受入体制を強化 [1,736万円]
(安全安心枠を新設し、宿泊施設等のソフト対策を支援)

安全安心枠	宿単体メニュー	地域連携メニュー
対 象	ユニバーサルなお宿宣言を行った宿泊施設 ※地域連携は、上記を含み地域が一体となってUTの推進に取り組む協議会	
対象経費	「ユニバーサルな防災」に関するソフト対策経費 (非常用階段避難車、避難用担架等)	
補助上限	300千円 (補助率1/2)	500千円 (補助率1/2)

拡 ○観光地域づくり人材の育成

- ・観光産業を支える実務人材の確保に加え、**高付加価値化※に向けた人材を育成** [2,233万円]

※高付加価値旅行者のニーズに対応できる有償ガイドや**ゴルフツーリズムコーディネーターを育成**

2. スポーツ・芸術文化の振興

■スポーツの振興

スポーツに親しむ

- 新** ○プレミアムスポーツサマーの実施 [600万円]
 ・夏休み期間に各地で開催される様々なスポーツ体験イベントの情報を一元的に発信するとともに、複数競技を無料で体験できるイベントを開催
- 新** ○全国高等学校総合体育大会の開催（近畿2府4県で開催）[2.1億円]
 ・本県で4競技5種目を実施（体操（体操・新体操）、登山、空手、カヌー）
 ・実施期間：令和8年7月30日（木）～8月10日（月）
- 拡** ・ワールドマスタースゲームズ2027関西の開催準備（各競技大会等の運営準備等）[6,762万円]
- 新** ・スポーツ施設のUD※化の支援 [1,544万円] ※ユニバーサルデザイン

・県内スポーツ施設UD状況の見える化支援	補助率1/2 上限100千円/施設 ※対象経費：バーチャル案内データの作成費用
・民間スポーツ施設UD化の支援	補助率1/2 上限4,000千円/施設
・介助者の利用料減免制度の導入支援	補助率1/2 上限150千円/施設



スポーツ体験イベント（イメージ）



バーチャル案内データ（イメージ）

■芸術文化の振興

芸術文化に親しむ

- 拡** ○プレミアム芸術デーにおける体験機会の充実 [1,626万円]
 ・県内の美術館・博物館等の無料開放や**体験イベントを開催**
 ・実施期間：令和8年7月9日（木）～15日（水）※R7年度：114施設参加
- 新** ○第46回近畿高等学校総合文化祭の開催 [7,488万円]
 ・芸術文化活動の総合的な発表会を県立美術館等で開催（21部門 ※合唱、演劇、書道等）
 ・実施期間：令和8年11月8日（日）～23日（月・祝）



3. 地域の賑わいづくり

■万博レガシーの展開

➤ 大阪・関西万博の検証結果を踏まえ、**万博事業で得られた教訓をレガシーとして多様な分野へ展開**

フィールドパビリオンの展開の加速

○プログラムの磨き上げ

- 拡** ・ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム
磨き上げ事業（研修＋**専門家派遣による商品化支援**）
[1,340万円]

新 ○プロモーションの積極的な実施 [7,434万円]

- ・ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2026の開催 等



○子どもたちの体験機会拡大

- 新** ・ひょうごフィールドパビリオンこども体験ツアーの実施（実施回数：20回）[1,016万円]
・ひょうごフィールドパビリオン・キッズEXPOの開催（会場：県内5か所）[4,660万円]
（テーマ：子どもたちの夢の実現、夢を見つけるきっかけづくり）

ひょうごフィールドパビリオンの展開

- 五国で繰り広げられる「活動の現場そのもの（フィールド）」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を**これからも全県で展開**
- 大阪・関西万博を機に始まった交流を生み出す取り組みを通じて、兵庫各地域に住まう人々が、自らの取り組みを再評価し、次代を担う人材を育み、兵庫で暮らすこと、生きることの誇りへとつなげ、「躍動する兵庫」を切り拓いていく



先端技術等の社会実装化

○先端技術の実用化と普及

- ・空飛ぶクルマの早期実装を目指し、「実証等の支援」から「事業化準備等の支援」へ段階を進め、県内実装に直結する取組を支援（補助率1/2、上限30,000千円等）[6,037万円]



空飛ぶクルマの離着陸場整備

万博を契機とした連携・交流の促進

○万博を通じて生まれた協力関係の継続と発展

- 新** ・じばさん海外向けプロモーション（地場産業のPR・販売イベントの実施、海外バイヤーとのビジネスマッチングの創出）[1,000万円]

3. 地域の賑わいづくり

■空き家・古民家の活用促進

エリアマネジメントによる官民連携まちづくり

[2,541万円]

拡 ○エリアマネジメント※による空き家再生

- ・空き家再生を具体化するため、エリアマネジメント団体の組織化や活動に対する支援を新たに開始

1年目～ (R7～) ※R8継続	機運醸成	・キックオフシンポジウム・プレススクールの開催
	育成	・エリアマネジメント実践塾の開催
2年目～ (R8～)	組織化	・エリアマネジメント団体の認定 ・エリアマネジメント団体の立ち上げの支援
	活動	・ガバメントクラウドファンディングによる活動資金調達支援



イメージ：空き家をカフェや宿泊施設に

※エリアマネジメント：

特定のエリアにおいて、空き家のリノベーション等によって収益を得ながら、地域価値の向上を図る活動
当該エリアに拠点を持つエリアマネジメント団体（法人）を中心に多様な主体が連携した取組

■地域活力の連携・結集

シビック・リンク・プロジェクト

[510万円]

新 ○地域づくり活動団体（NPO等）の課題解決を支援

- ・プロボノ※の活用促進による課題解決を支援（啓発セミナーや企業訪問、プロボノと地域団体とのマッチング等）
- ・ふるさと納税を活用した資金調達を支援

※プロボノ：職業上持っている専門知識（会計、マーケティング等）やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア

4. 産業の振興

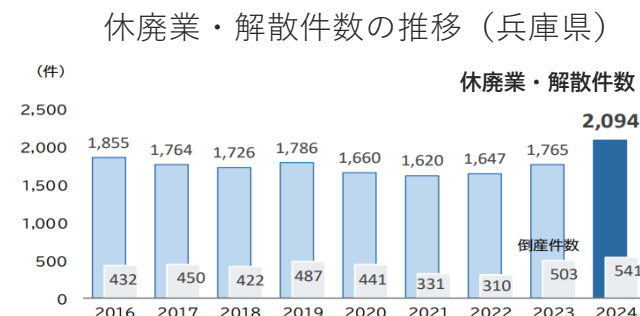
■経営の持続性向上

事業継承の推進

[516万円]

- 新** ・次代の兵庫経済を担うリーダーの発掘・育成と経営者等のマインドセットを連動して推進し、
事業承継の活性化を促進

区分	機運醸成	横展開
被承継者向け	協定締結企業等と連携した意識醸成 セミナーの開催	優良事例のPR動画の制作
承継者向け	事業承継に向けた意識啓発や経営マインドの醸成に向けた セミナーの開催 及び 専門家派遣 の実施 ※想定：経営に必要な知識やノウハウ、事業承継に必要な知識 など	



■労働生産性の向上

設備導入の推進

- 新** ・新たな**設備貸与**事業を通じて、エネルギー構造転換対策としての**G X (省エネを含む)、人手不足対策としてのD X等、中小企業の生産性向上や製品の付加価値向上**を目的とする設備投資を促進 [2.0億円]

対 象	従業員300人以下の県内中小企業
資金使途	G X・D X等生産性の向上に資する新品の設備
貸与額等	貸与額：500万円～2億円 利率：割賦（年利）1.5%～2.75% 貸与期間：3～10年

- 新** ・**経営指導員を核とした指導体制を強化**（専門家のチームによる伴走型経営指導等） [1.1億円] **（R7年度2月補正計上予定）**

- 新** ・新たな**設備補助**事業を通じて、**稼ぐ力の強化・賃上げに向けた設備投資**を促進 [21.2億円] **（R7年度2月補正計上予定）**

対 象	商工会・商工会議所が実施するチーム型伴走型指導の結果、設備導入等により、長期的な収益力の向上が強く見込まれ、賃上げが促進されると認められる者
対象経費	売上の向上につながる設備導入等に要する経費
補助率等	補助率：中小企業 1/2、小規模事業所 2/3（補助上限500万円） 補助件数（想定）：700件

4. 産業の振興

■スタートアップ支援

支援拠点機能の強化

[9,529万円]

拡 ○スタートアップ支援の全県拠点として神戸に集約したうえで、新たな支援メニューを付加し、
「起業プラザひょうご」の機能を強化

- ・エコシステムの土台形成に向けた若者支援の強化（スタートアップ 経営者との交流会等）
- ・事業開発・成長支援の強化（官民連携相談窓口の設置等）
- ・海外展開支援の強化（専門家による個別相談）



起業プラザひょうご

イノベーション創出支援

- 新** ・ディープテック領域（素材、AI、医療、バイオ等）における**大学発スタートアップの育成**に向け、
県内大学等の理系学部の研究シーズを発掘 [1,405万円]
- ・令和8年度において、**大学発スタートアップの立ち上げ時等への新しい支援のあり方を検討**

■発展基盤の強化

ひょうご経済フォーラム(仮称)

[100万円]

新 ○農業や観光等の分野も含む多岐にわたる産業界のリーダーが一堂に会する「**ひょうご経済フォーラム(仮称)**」
を開催し、時流に即したテーマについて議論し交流することで、本県が抱える課題の解決を図る

- ・開催時期 令和8年6月頃、令和9年2月頃の年2回
- ・参加者 経済団体、農業団体、有識者、学生など
- ・テーマ(仮) 持続可能な兵庫の産業構造の確立について など

5. 交流・発展を支える社会基盤の充実・強化

■高規格道路ネットワークの整備

➤ 県の大交流圏を支える高規格道路ネットワークの早期整備を推進 [76億円]



路線名	R8年度実施内容
大阪湾岸道路西伸部 〔直轄・阪神高速道路(株)の合併施行〕	・ 橋梁工事、トンネル工事、調査設計等を実施
名神湾岸連絡線 〔直轄・阪神高速道路(株)・西日本高速道路(株)の合併施行〕	・ 調査設計を実施
神戸西バイパス 〔直轄・西日本高速道路(株)の合併施行〕	・ 橋梁工事、道路改良工事等を実施
播磨臨海地域道路	・ 都市計画・環境影響評価手続の推進 (R7.6 都市計画に係る公聴会を開催)
北近畿豊岡自動車道 〔直轄〕	< 豊岡道路(Ⅱ期)(豊岡出石IC～豊岡北JCT・IC) > ・ 調査設計、用地取得、道路改良工事等を実施
山陰近畿自動車道 〔県事業〕	< 浜坂道路Ⅱ期(居組IC～新温泉浜坂IC) > ・ トンネル工事、橋梁工事、道路改良工事等を実施 < 竹野道路(竹野IC～豊岡北JCT・IC) > ・ 調査設計、用地取得、橋梁工事等を実施 < 城崎道路(豊岡北JCT・IC～城崎温泉IC) > 〔直轄権限代行〕 ・ 調査設計を実施
東播丹波連絡道路 〔直轄〕	< 西脇北バイパス > R8年春 開通予定 ・ 橋梁工事、舗装工事等を実施 < 西脇市黒田庄町～丹波市氷上地域 > ・ 事業化に向けた調査を実施

5. 交流・発展を支える社会基盤の充実・強化

■地域公共交通の維持・最適化

- 国の政策動向等を踏まえ、既存のバス路線の維持を図りつつ、地域の多様な主体による
地域公共交通の利便性・生産性・持続可能性を向上させる取組を強化

地域公共交通リ・デザイン

[1,500万円]

- 新**・限られた輸送資源（人材・車両）を最大限活用しながら、**地域の実情に応じた公共交通ネットワークにリ・デザイン**を図るため、**他分野・地域間連携の市町実証実験を支援**

区 分	内 容
対 象	分野間・地域間連携により、公共交通の持続可能性を高める取組 [支援対象例] ・分野間：教育×交通 スクールバスとの連携 ・地域間：複数市町をまたがるコミュニティバス
補助上限	3,000千円 (市町実質負担額に対し1/3 ※中山間地域等：1/2)

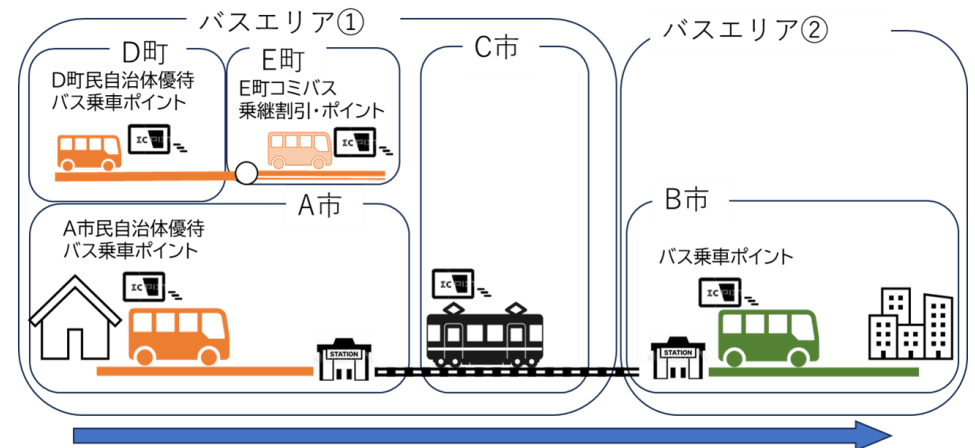
新交通系 I C 共通プラットフォームの整備

- 新**・交通系ICカードの相互利用が進む中、一部のバス事業者は独自カード使用やキャッシュレス決済未対応
県内共通規格のプラットフォームを構築し、
1枚のICカードでスムーズに移動できる環境を整備
[9,600万円]

- ・共通プラットフォームに対応するためのバス事業者に対する
キャッシュレス決済機器導入を支援 [6,230万円]

(R7年度2月補正計上予定)

〔移動の利便性向上〕



1つの決済手段でのシームレスな移動を実現

1. 農林水産業の振興

■食の安定供給に向けた持続可能性を高める取組の強化



生産体制の確保・強化

[1.5億円]

区分	内容	補助率等
米	新 ・米の安定供給に向けた、 兵庫県産米の革新的生産技術の実証	県が実施：省力化や収量向上に資する新たな技術
野菜等	新 ・野菜等の安定供給に向けた、 高温対策技術の実証	県が実施：収量減少や品質低下等に有効な対策の検証
イカナゴ	新 ・資源回復を図るため、 イカナゴの緊急肥育放流支援や調査研究を実施	補助率 1/2 上 限 1,000千円/漁協
マガキ	<div> 播磨の養殖マガキの不漁に対する追加支援（中長期対策） </div> <div> 新 ①養殖マガキへい死対策技術を確立するため、調査研究を実施 新 ②環境変化に対応した新たな養殖手法等の開発 新 ③漁場環境向上(海底清掃)への支援 新 ④来期の生産者の種苗購入費を速やかに支援（令和7年度2月補正計上予定） </div> <div> R8当初予算 [2,000万円] R7年度2月補正計上予定 [8,000万円] } 計1.0億円 </div>	①県が実施：海洋環境・成育状況調査、飼育試験 ②県が実施：養殖実証 ③対 象 漁業協同組合 補助額 4千円/養殖筏1基 ④対 象 マガキ養殖を営む経営体 補助率 1/2 上 限 1,000千円/経営体
但馬牛	○但馬牛の供給力を確保するため、 畜産参入支援センター機能等を強化 新 ・①空き牛舎等のマッチング機能強化(経営計画、空き牛舎等を調査の上マガグ) 拡 ・②規模模拡大等のための牛舎リノベーションへの支援 新 ・③分娩間隔の短縮に向けた調査の実施	②補助率 1/3 上 限 240千円/頭など

1. 農林水産業の振興

■人と環境にやさしい農業の推進

人と環境にやさしい農業の取組拡大 [636万円]

新 ○人と環境にやさしい農業・農村振興条例の制定を契機として、各取組を実施

- ・環境負荷低減技術の実証 なかぼし しゅうこう（中干延長、秋耕、バイオ炭投入）
例：秋耕 稲刈り後に秋のうちに田んぼを耕すことで、有機質の分解を促進し、土壌環境を改善
- ・県民向け意識醸成の広報等
 - ①幼稚園等における食農教育モデル作成（有機農産物の食農教育プログラムの作成）
 - ②広報戦略策定・プロモーションの実施



秋耕

（有機質を分解させる稲わら）

■次代を担う後継者の育成・確保

担い手確保

新 ○ひょうご地域の米づくり人材育成 [540万円]

- ・県産米の安定供給・集落の維持を図るため、稲作就農希望者（兼業等を希望する者を含む）が働きながら、稲作を実践的に学ぶことのできる研修を実施

新 ○林業人材の確保対策（担い手の裾野拡大）[298万円]（再掲）

- ・林業に触れられる機会を創出し、魅力等を発信
（林業の現場見学講座の開催、林業就業オンラインセミナー、森林理解促進プログラムを作成し自然学校指導者に研修等）

○「有機農業アカデミー」の開講（令和8年4月）

- ・「経営として成り立つ」有機農業を実践する新たな担い手を育成するため、学生ごとに整備したビニールハウス・露地ほ場を用いた実践的なカリキュラムを実施



トラクターの運転指導



有機農業アカデミー（ビニールハウス）

2. 循環型社会の実現

■脱炭素の推進

➤ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県民・事業者等が一体となって脱炭素に取り組む施策を展開

水素利活用の促進

[9,746万円]

・水素社会の早期実現に向け、**水素ステーションの整備や水素モビリティの導入を促進**

区分	内容	補助上限額
水素 ステーション	・大規模ステーション（500Nm ³ /h ※以上）※水素供給能力	1億円/基
	・中規模ステーション（50Nm ³ /h 以上、500Nm ³ /h未満）	5,000万円/基
	・小規模ステーション（50Nm ³ /h 未満）	1,250万円/基
水素 モビリティ	・燃料電池（FC）小型トラック	1,250万円/台
	新・燃料電池（FC）大型トラック	4,000万円/台
	・燃料費補助 ※対象：県補助金の交付を受けて導入された車両	FC小型トラ： 96万円/台 FC大型トラ： 240万円/台



燃料電池（FC）大型トラック

■資源循環の推進

資源循環の推進

[769万円]

新 ○今後排出量の増加が見込まれる使用済紙おむつについて、**使用済紙おむつの回収・リサイクルモデル**※を構築

- ・システム構築検討会の開催（構成員：有識者、リサイクラー、排出事業者、市町）
- ・県内紙おむつ排出量調査・検討（排出量調査、モデル地区における意識調査）



紙おむつに使用する吸水性樹脂
（住友精化（株））

※SAP（吸水性樹脂）のケミカルリサイクル技術により
紙おむつのリサイクルの実現を目指す

3. 自然共生社会の実現

■野生鳥獣の適正な保護管理

ツキノワグマ管理総合対策 [5,390万円]

拡 ・市町長の権限で地域住民の安全の確保の下で銃猟が可能になった（緊急銃猟制度）ことから、
市町における体制整備等への支援を実施するとともに、捕獲従事者の人材育成等の対策を強化

狩猟デビュー応援プロジェクト [1,869万円]

新 ○野生動物による農林業被害等の低減を図るため、**狩猟者の確保・育成**に取り組むとともに、免許所持者の高齢化対策として**若年層の狩猟免許取得を促進**

- ・情報発信の強化（漫画作品等と連携したセミナー交流会等）
- ・免許試験回数の増加、狩猟実践アドバイザーの配置、狩猟デビュー研修の実施



イメージ 狩猟デビュー研修（わな猟）

■特定外来生物防除対策の推進

特定外来生物防除対策の推進

拡 ○特定外来生物対策本部の検討を踏まえ、**生態系、農林水産業等への被害を防止するために必要な対策を実施** [9,196万円]

- ・ナガエツルノゲイトウ：河川・農地における防除や新たな防除手法の実証等を実施
- ・クビアカツヤカミキリ：防除作業の外部委託や生産地域で取り組む新たな防除体系の確立に向けた実証を実施



ナガエツルノゲイトウ繁茂の様子

新 ○**桜を守ろうプロジェクト**（ふるさと寄附金を活用した県民協力の拡大取組） [417万円]

- ・特定外来生物発見通報者へデジタル商品券等を進呈（通報フォームからの確定通報件数の上位20名）
- ・地域のシンボルツリー（桜の街路樹等）を公募し、クビアカツヤカミキリの侵入を防ぐ被害予防策を実施

躍動を支える県政運営基盤の確立

■新庁舎等整備プロジェクトの推進

- 昨年12月に策定した基本構想を踏まえ、**機能的でコンパクトな新庁舎の整備及びモトキタエリアのにぎわい創出のための基本計画策定等を実施**

新庁舎等整備プロジェクト

- ・新庁舎等整備プロジェクト基本計画の策定 [1.1億円]
- ・新庁舎等整備プロジェクト基本計画検討会議の開催 [34万円]
- ・旧県民会館の敷地活用に向けた解体撤去等の準備 [8,196万円]

AIを活用した行政DX加速化会議の設置 [50万円]

新 ○県民サービスの向上や持続可能な行政運営等の実現に向け、**AI活用の加速化に向けた具体的な方策等を検討**

- ・構 成 員 AI関連の有識者等
- ・検討内容 AI技術革新の動向等の整理、県民サービス向上・業務効率化、市町へのAI活用促進

■県政運営基盤の強化

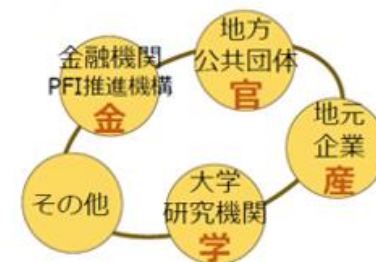
PPP／PFIの導入促進 [110万円]

新 ○多様な主体が参画し、PPP・PFIへの理解を深め、公共施設等の整備・管理運営に関する行政ニーズと民間シーズをマッチングする「**ひょうごPPP／PFIプラットフォーム**」を設立

- ・参画機関 行政、民間、大学、金融機関等
- ・開催内容 セミナー・講演会、サウンディング調査、交流会 等

ひょうごPPP/PFIプラットフォームの機能

- 普及啓発・人材育成機能
- 情報発信・官民対話機能
- 交流機能



ファンドレイジングの推進 [11.6億円]

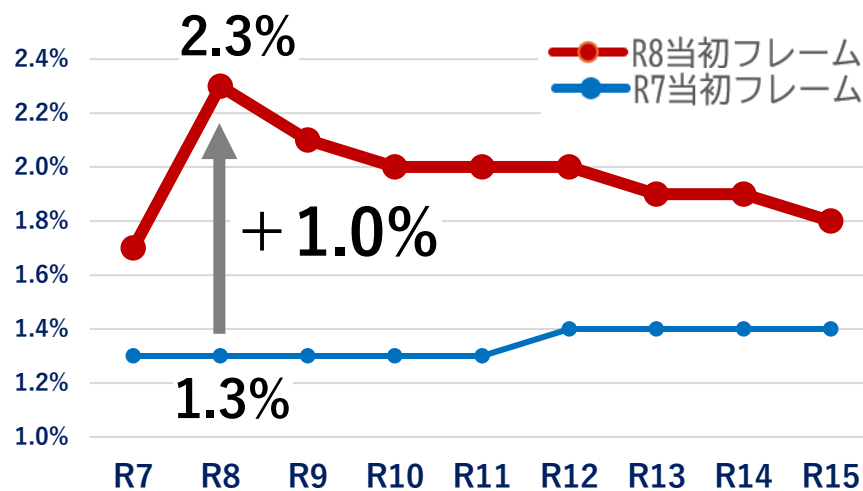
- ・ふるさと納税による寄附獲得を推進するとともに、県内外企業への渉外活動やマッチングの強化など、ファンドレイジングを展開（R8寄附獲得目標額：24億円）

躍動を支える県政運営基盤の確立

■ 令和8年度当初予算の編成について

- 令和8年度当初予算編成において、想定以上の金利の上昇により、公債費が増加（+100億円）するなど、**義務的経費の増加等により**、県政改革方針に基づき徹底した事務事業の見直し、財源対策を講じてもなお**多額の収支不足が発生**
- 一方、年度間の財源調整や災害など不測の事態への対応力を高めるため、これまで**財政基金を着実に積み上げ**（R3:33億円→R7見込み:236億円）
- 今後の金利動向や税収の見通しなどが不透明ななか、当初予算編成にあたっては、安定的な財政運営を確保するため、**暫定的に財政基金を活用**（129億円）
- なお、今後の税収等の状況など、令和8年度の収支状況を踏まえ、財政基金活用の見送りも検討していく

○当初予算のフレーム試算における金利



○財政基金残高

(単位：億円)

R3	33
R4	67
R5	127
R6	145
R7年間見込	236
R8当初	107

※精算分除きの金額

※当該年度残高（R8:運用益除く）

(参 考) 財政フレーム

■ 収支・財政指標の見通し

R8～R10総額
△530億円

区 分	R7見込み	R8	R9	R10	参 考					R10までの目標
					R11	R12	R13	R14	R15	
収支不足額	0億円	△130億円	△180億円	△220億円	△305億円	△320億円	△315億円	△315億円	△315億円	収支均衡を目指す
実質公債費比率	21.7%	21.1%	23.3%	23.6%	24.3%	24.2%	24.1%	24.1%	23.4%	21%程度
3 か年平均	19.0%	20.2%	22.0%	22.7%	23.7%	24.0%	24.2%	24.1%	23.8%	
将来負担比率	303.5%	294.8%	294.2%	287.8%	283.0%	277.1%	271.0%	264.6%	258.1%	305%程度
経常収支比率	97.9%	98.9%	99.7%	99.6%	98.1%	99.0%	97.9%	98.5%	98.2%	100%未満を維持

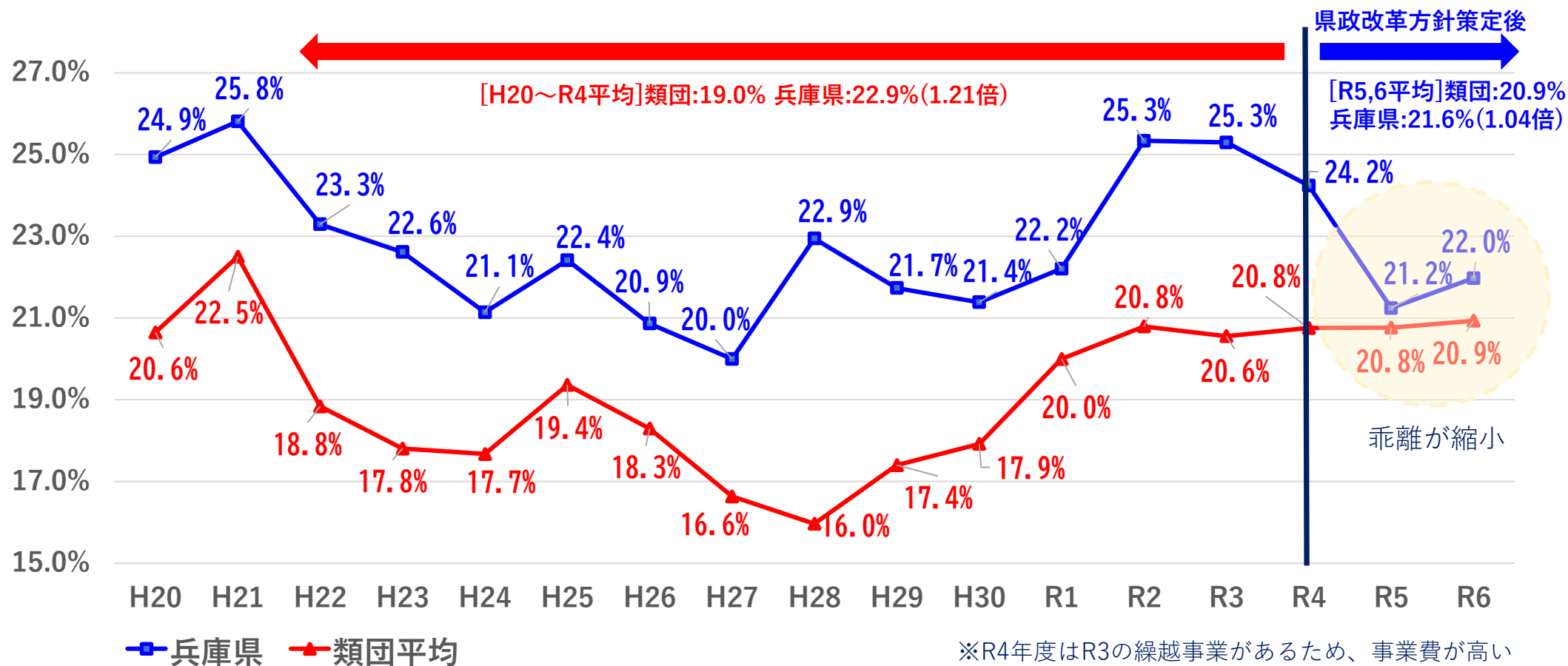
- 令和10年度までの収支不足額は、経済成長率の上昇が見込まれるものの、これを大きく上回る**長期金利の上昇の影響もあり、昨年度の160億円から530億円に悪化**し、令和11年度以降の見通しについても厳しい状況
- 実質公債費比率も令和7年度決算で起債許可基準の18%を超過。その後も金利上昇により、高い水準で推移
- これまで、震災関連県債や財源対策債の償還に加え、**類似団体に比べても高い水準で投資事業を行ってきた本県**は、県政改革の取組はもとより、低金利環境の恩恵も受け、収支を均衡させてきた。**今後は本格的な金利上昇局面に対応した財政運営への転換**が求められる
- 一方、兵庫の発展のためには、**今後も未来への投資が不可欠であり、財政健全化と必要な投資を両立していくことが重要**
- このため、**本県の財政構造を検証したうえで、今後の財政運営のあり方検討を進めていく**。あわせて、起債許可団体に移行することから、**投資規模の抑制など適切に公債費を管理するための「公債費負担適正化計画」を策定**
- 国内経済や税収動向への影響を注視しながら、一層の緊張感を持って財政運営にあたるとともに、**県議会や県民との情報共有を徹底し、更なる県政改革を進める**

(参 考) 投資規模の類似団体比較について

行財政構造改革期間（H20～H30）において投資的経費を見直してきたものの、**類似団体と比べても高い投資水準で推移**。これは、県土の安全・安心のため、防災・減災対策などの事業費を投資フレームの別枠で措置するとともに、国経済対策に呼応した補正事業を積極的に実施してきたことなども要因と考えられる。

このため、令和4年度以降、投資事業の適正化を図ってきているが、過去の高い投資水準の影響により、**公債費の負担増が今後も続く見通し**。

■標準財政規模に占める普通建設費の割合(普通会計決算ベース) 注) 類似団体：埼玉県、千葉県、静岡県、愛知県、京都府、広島県、福岡県





**Hyogo
Prefecture**